



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称) 西区靱本町3丁目PJ新築工事	
建設地	西区靱本町3丁目	
建物用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
竣工年	2028年3月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上12階	
敷地面積	1415.24 m ²	
建築面積	578.33 m ²	
延床面積	5486.45 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+
BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロンスイト	ロオフサイト	割合
①参照値						100%
②建築物の取組み						97%
③上記+②以外の オンサイト手法						97%
④上記+ オフサイト手法						97%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質
Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

項目	スコア
音環境	2.8
温熱環境	3.0
光・視環境	2.7
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

項目	スコア
機能性	3.3
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.1

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア = 2.5

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性
LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.2
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

項目	スコア
水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.1
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 断熱等性能等級で等級5相当の水準を取得予定であり、付加価値を設けた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し、室内環境の向上に配慮した。	Q2 サービス性能 給排水配管等に、更新必要間隔が長い材料を採用した。	Q3 室外環境（敷地内） 特に無し。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級5相当の水準を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.1
配慮事項	建物全体の一次エネルギー消費量が省エネ基準を満たすようにし、CO2排出量を一般建物と同程度以下になるよう努めた	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内緑化形成にできる限り努めた	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	外皮性能で等級5相当の水準を取得予定であり、CO2削減に配慮した	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.2
配慮事項	LED照明を採用し、省エネルギー化に努めた	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級5 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -
	住宅部分[BEI] 0.73	非住宅部分[BEI][BEI _m] -
一次エネルギー消費量		